

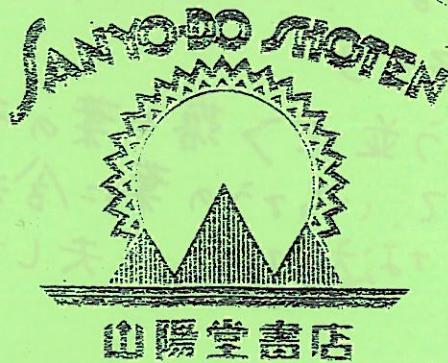
今月の一句

恋・ホーッと
(まうれん草の
根のところ)

毎日新聞
寺田良治
1932年
1月3日
ほのかな恋い風
ほうれん草の根の
赤色のよう。春の水
フランクンカ・コラムニ
「男の子は日々をくらべて
見つかる」も良治作。

山陽堂だより 7

2010年3月



弥生(旧暦3月)~

弥生(いやあい)から変化
してものとされる。

「弥」(いや)はいいよ
ますます等の意味。

「生」(あい)は草木が芽
吹くことを意味する。

草木が段々芽吹く月
であることから弥生
と名づけた。



昭和初期

青山・表参道のこどもたちの遊び場は?

の父の幼なじみで大将でもあった86歳のおじさんの所に
昔のこどもたちはどこでどんなふうに遊んでいたのか聞ききに
いきました。今から80年前のことこどもたちは、地域ごとに
グルーフィーで遊びてそれの中にカリ大将がいました。小学校
の最上級生になると「大将」による資格が与えられました。

ケンカのときは首から上はよくってはいけないなどの
「けんかの作法」、刀やのを使うときの約束ごとはカリ大将
ひきいる仲間たちのあいだで伝承されていました。(当時
刀やのはえんひつを削ると遊び道具として使用)
そして「大将」は小学校卒業とともに引退、こども時代にさよなら
しました。

ところが、この時代こどもたちはどこでどのように
遊んでいたのでしょうか。

⑩遊び場その1

<表参道> 休みの日はほとんど車の通りがかった表参道、
中央分離帯もありませんでした。よく野球をして遊んで
いました。時々交番のあまわりさんもサヘルをはずして
なかま入っていました。

(洋剣)

⑦ あそび場 その2

〈代々木練兵場〉今の代々木公園。当時は陸軍の兵隊の訓練の場。休みの日はこどもたちの恰好の遊び場でした。

⑧ あそび場 その3

〈外苑 いちょう並木〉落ち葉の季節、いちょうの葉を一ヶ所に集めて、いちょうの葉に含まれる油分を利用して、さまさか遊びを工夫して仲間たちと競いました。

⑨ あそび場 その4

〈金魚池〉南青山(外苑方向)に養魚池があり、雨がふると池の金魚が川にあふれでてくるのです。それをすくいにいきました。日

⑩ あそび場 その5

〈友だちのうち〉この頃の青山は広いおやしきやからです。テニスコートが二面もある友だちの家でよく遊びました。お茶の時間には女中さんから紅茶とブランカーフヨコのお菓子をもらってきてくれました。

昭和初期の青山周辺のことのひとりであります。おじさんはこんな場所であそびました。おわりりさんもいっしょに遊んでいた人のひとつかつて時代でしたのですね。当時父の大将たったおじさんは、子供たる父の最期、骨を捨うことまで面倒をみてくださいました。

父はよき親方に恵まれました。

青山・表参道 街並回
昭和10年頃 1575円

山陽堂連絡先

港区北青山3-5-22

TEL03-3401-1309

FAX03-3401-1358

e-mail sanvodo@bi.wakwak.com

営業時間

月~金

10時30分~19時30分

土(不定期で月に一回休み)

10時30分~16時

休み 日・祝日

*3月は全土曜営業